

# のり海況速報 第2報 (22-2)

平成22年10月 7日発行  
千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所  
千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 (10/5:東京湾全域)  
関東・東海海況速報 (10/5), 東京湾口海況図(10/7)

## のり養殖場水温予報について

県内の各のり養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について, 5日先まで表層の水温を予報するシステムを開発いたしました。下記にて水温予報を公開していますので, ご活用下さい。

[http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main\\_frame.html](http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html)

## 【東京内湾の動き】

9月22日頃まで26℃台後半~27℃台と高水温であった本県側の表層水温(図1)は23日からの冷たい北寄りの風によって気温が低温となったため, 水温も急激に低下し, 現在22℃台後半~23℃台となっています。各地区の漁場内水温も23℃前後となっています。

塩分はほぼ29~30台を示しており, ここにきてほぼ平年並みに戻っています。

縦断面の水温・塩分(図2)の鉛直分布をみると, 水温は表層と底層の水温差が小さくなり, 中央から北部海域ではほぼ一様に分布しています。しかし, 塩分は依然内湾中央部の水深10~15m付近にやや強い躍層が形成されています。

また, 北部では沖合底層水(無酸素水)が沿岸まで達していますので, 平成22年10月5日発行の貧酸素水塊速報でお知らせしたように今後の動きに注意が必要です。

これまで中央から北部海域で発生していた赤潮は終息したが, 再び, 盤洲周辺海域で赤潮状態となっています。pH8.4~8.5・透明度1m台を示し, 水色も褐色基調を呈していました。優占種はケイ藻のキートケロス(*Cheatoceros* sp.)で, そのほかにシュードニッチア(*Pseudo-nitzschia* sp.), スケルトネマ(*Skeletonema costatum*)などがみられていました。

表層の栄養塩濃度(表1)は盤洲周辺海域で溶存無機態窒素が非常に少ないところがありますが, 全体的には多く, 現在ではのり養殖にとって問題ない量と思われま

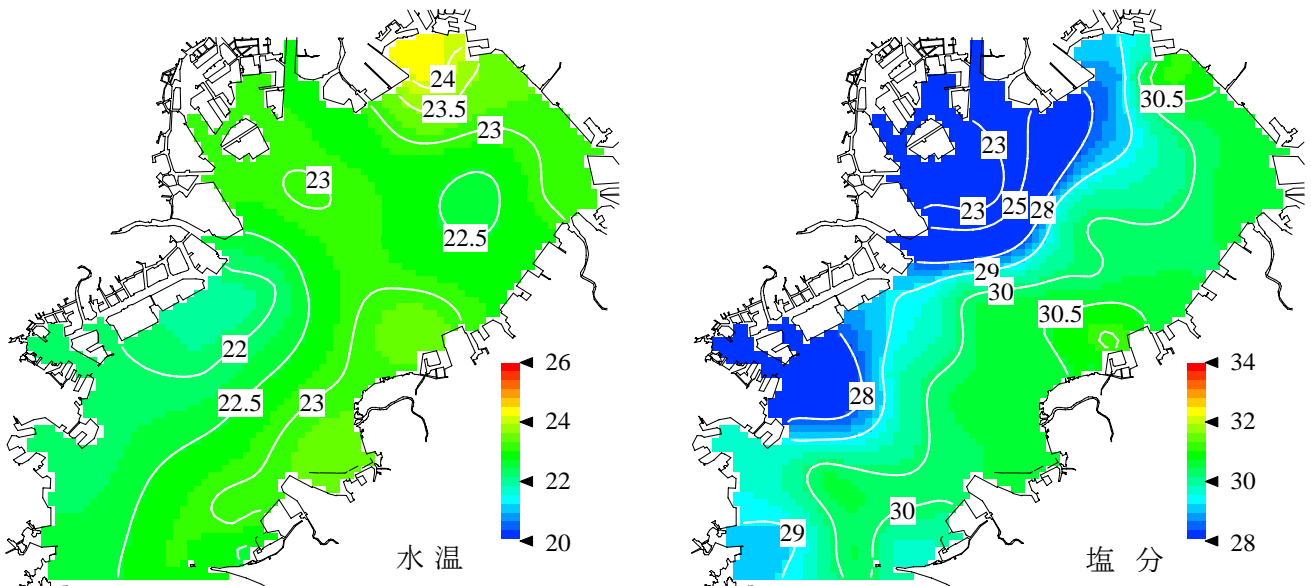


図1 表層の水温・塩分分布 (内湾:平成22年10月5日)

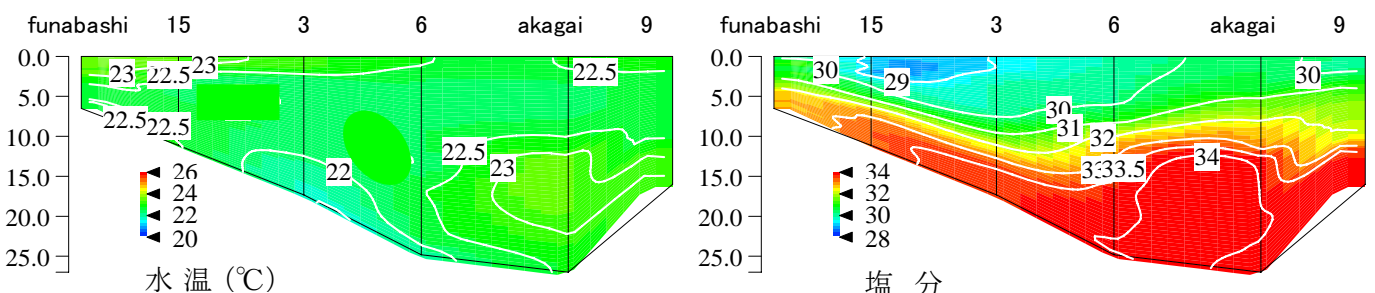


図2 縦断面の水温, 塩分の鉛直分布 (内湾:平成22年10月5日)

## 【湾口部の動き】

内房北部海域の表層水温・塩分(図3)は23℃前後・ほぼ30~31台前半となっています。

縦断面の水温・塩分(図3)の鉛直分布をみると、浦賀水道航路入口付近から沖合の水深10mから25m付近に水温24℃以上の水塊がみられていますが、これより沿岸では表層から底層まで23℃台とほぼ一様に分布しています。また、これまで浦賀水道航路入口付近の水深10m以深にみられた塩分34以上の水塊ははるか沖合にまで後退している模様です。

赤潮は引続き発生していませんが、透明度がやや低く、水色も褐緑色を呈していました。プランクトンも比較的多く、優占種は内湾と同様ケイ藻のキートケロス(*Cheatoceros* sp.)でした。

表層の栄養塩濃度(表1)は内湾と同様、溶存無機態窒素・リン酸態リンとも十分あり、ノリ養殖にとって問題ない量となっています。

黒潮流軸そのものは依然ほぼB型基調で、6日現在(図5)三宅島と八丈島付近を北上した後、房総沖を接岸しながら東方向に流れています。

東京湾口海況図によると、7日現在湾口部の水温はほぼ23℃台に止まっていますので、現状では沖合水の波及は少ない模様です。

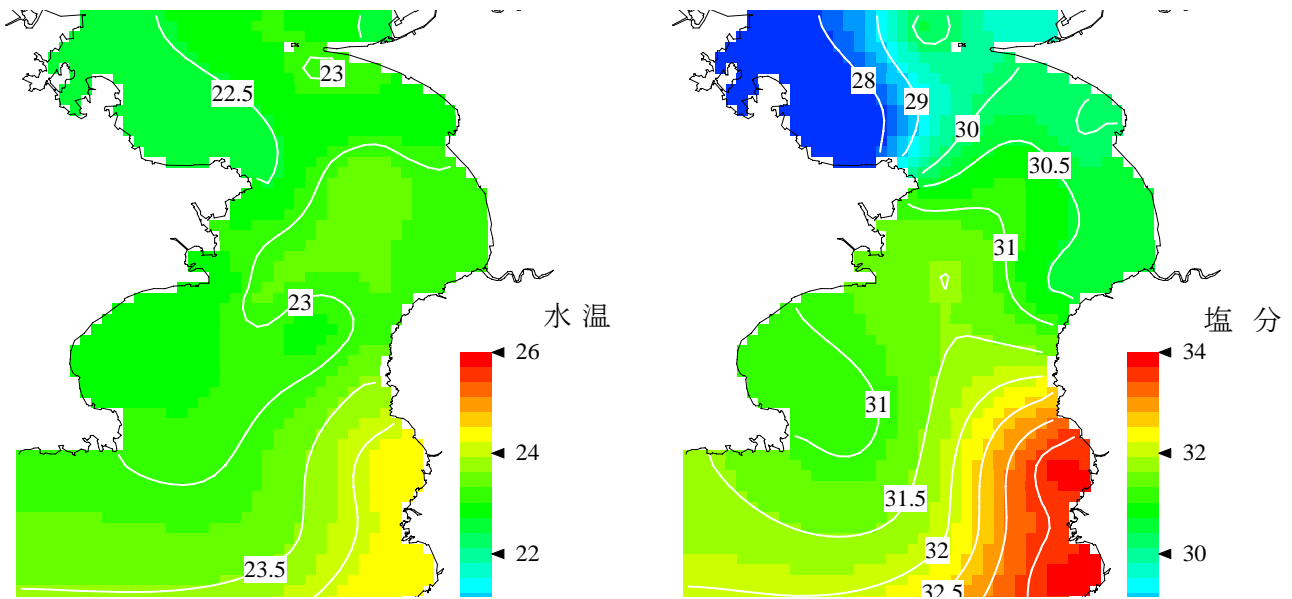


図3 表層の水温・塩分分布 (内房北部海域：平成22年 10月5日)

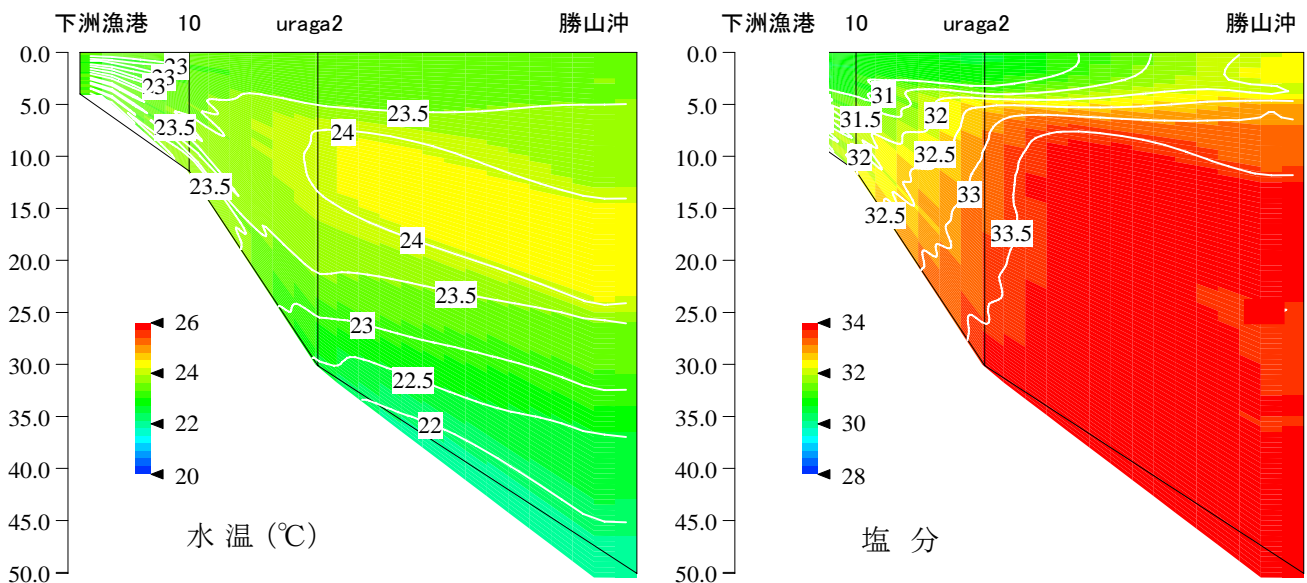


図4 縦断面の水温，塩分の鉛直分布 (内房北部海域：平成22年10月5日)

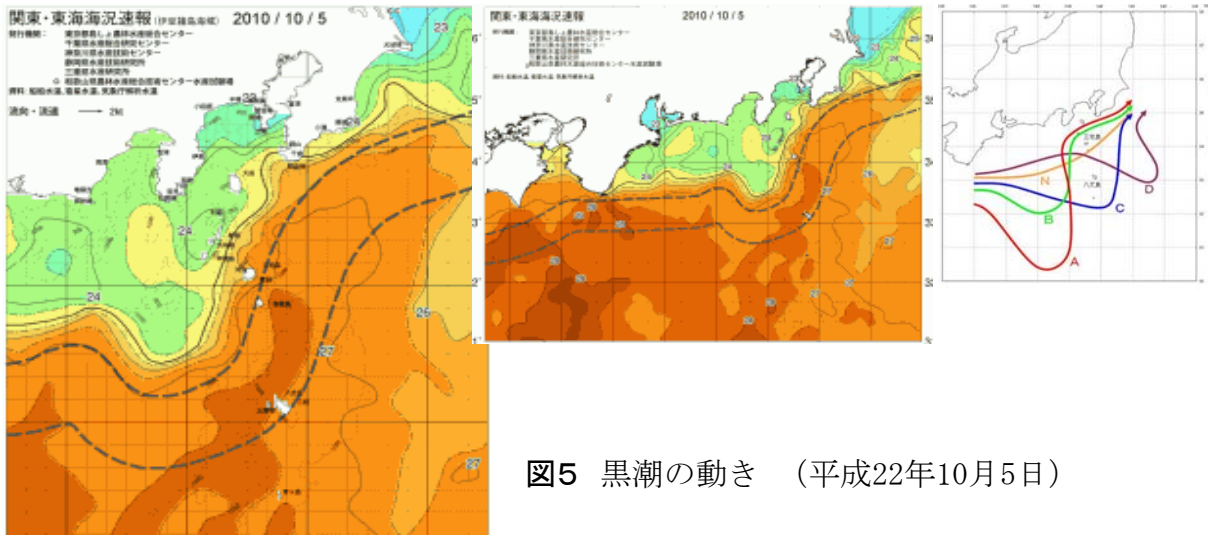


図5 黒潮の動き (平成22年10月5日)

表1. のり漁場環境調査結果 (表層)

上段 調査年月日 10/5 : 東京湾全域

( ) : 前回の調査結果 9/22 : 内湾, 9/21 : 内房北部

調査点名	水温 (°C)	塩分	現場比重	pH	透明度 (m)	水色	アンモニア態窒素 (μg/L)	溶存無機態窒素 (μg/L)	リン酸態リン (μg/L)	
内湾	船橋	23.4 (27.8)	30.90 (26.79)	20.71	8.2 (8.6)	2.0 (1.3)	灰褐	138 (45)	402 (101)	82 (5)
	st. 15	23.2 (26.8)	28.84 (26.66)	19.23	8.4 (8.6)	1.8 (1.2)	灰褐	6 (9)	269 (53)	25 (4)
	st. 3	22.9 (27.0)	29.05 (23.88)	19.46	8.4 (8.7)	2.6 (1.2)	灰黄緑	6 (11)	253 (102)	24 (4)
	st. 6	22.6 (26.4)	29.61 (24.72)	19.97	8.3 (8.6)	4.0 (1.5)	淡黄緑	5 (11)	268 (375)	34 (7)
	st. 9	22.7 (26.4)	29.85 (29.46)	20.12	8.3 (8.4)	3.8 (3.0)	淡褐緑	6 (8)	263 (11)	27 (ND)
	盤洲Cブイ	23.5 (27.8)	31.08 (28.04)	20.83	8.4 (8.7)	1.7 (2.7)	淡褐	5 (5)	26 (8)	16 (1)
	盤洲Bブイ	23.0 (27.7)	30.42 (27.84)	20.45	8.5 (8.6)	1.8 (2.5)	黄褐	7 (5)	54 (10)	16 (2)
	st. 8 (盤洲Aブイ南)	23.1 (27.0)	30.23 (29.05)	20.31	8.4 (8.5)	1.8 (2.5)	淡緑褐	5 (6)	125 (10)	18 (1)
	富津ベタ	23.0 (26.6)	29.86 (30.77)	20.04	8.2 (8.3)	4.2 (2.5)	濃緑	12 (6)	313 (9)	32 (1)
内房北部	2海ほ下	22.7 (26.2)	29.60 (31.50)	19.92	8.3 (8.4)	3.0 (3.5)	褐緑	5 (6)	467 (14)	34 (5)
	st. 10 (下洲沖)	23.4 (27.0)	30.73 (31.50)	20.59	8.3 (8.4)	4.0 (4.5)	褐緑	8 (5)	472 (8)	36 (2)
	st. 12 (湊沖)	23.0 (26.5)	30.46 (32.08)	20.49	8.3 (8.3)	4.0 (5.0)	褐緑	6 (1)	347 (3)	32 (ND)
	浦賀水道航路 ②ブイ	23.2 (27.0)	30.47 (31.50)	20.45	8.2 (8.4)	6.0 (4.6)	黄緑	12 (2)	170 (3)	19 (1)

注) ・黄色で示したところは、溶存無機態窒素・リン酸態リンが少ない調査点です。